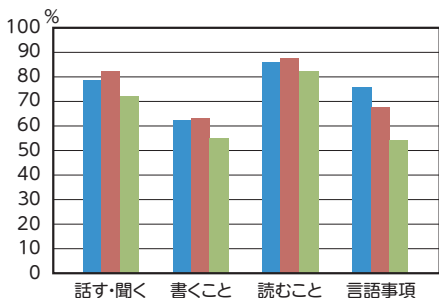


# 力・学習状況調査

**4** 月18日に実施された全国学力・学習状況調査では、各小学校の6年生が国語と算数の2教科、美郷中学校の3年生が国語・数学・英語の3教科にそれぞれ取り組みました。今年度から「知識」と「活用」を合わせた内容で実施されたほか、英語が初めて加わりました。英語では「聞く

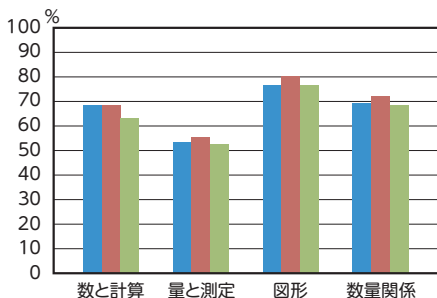
こと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」に関する問題が出題され、「話すこと」に関する問題の解答は口述式によるもので実施されました。これに加えて、子どもたちの生活・学習習慣等を調べるための質問紙調査も行われましたので、結果の概要をお知らせします。

## 小学校 国語



すべての領域で全国の平均正答率を上回りました。特に「言語についての知識・理解・技能(言語事項)」においては秋田県の平均正答率も上回っており、たいへん良好であるといえます。目的や意図に応じて自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く力を伸ばす必要があります。

## 小学校 算数



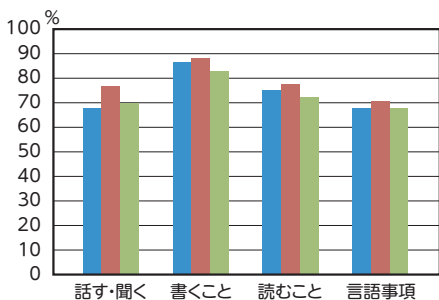
「数と計算」で全国の平均正答率を上回りましたが、他の領域ではほぼ同じか下回る結果となりました。求め方の説明や判断の理由、成り立つ性質などを言葉や数を用いて記述する力を伸ばす必要があります。

## 学力調査の結果概要

■ 美郷町 ■ 秋田県 ■ 全国

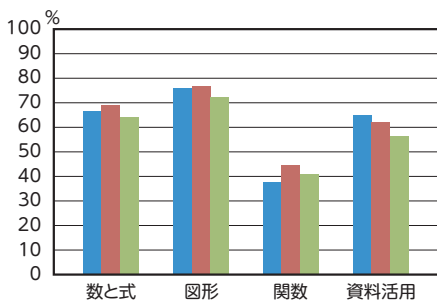
「話すこと」については、コンピュータ環境の関係でテスト未実施の学校もあることから秋田県の平均が示されていないため、全国平均(参考値)のみとの比較になります。

## 中学校 国語



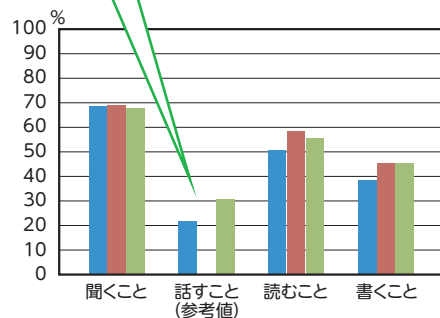
「書くこと」「読むこと」「言語事項」は全国の平均正答率を上回っていますが、「話すこと・聞くこと」が全国の平均正答率を下回っています。話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる力を伸ばしていくことが求められます。

## 中学校 数学



「数と式」「図形」で全国の平均正答率を上回り、「資料の活用」においては秋田県の平均正答率も上回っており、たいへん良好であるといえます。「関数」の領域においては、全国の平均正答率を下回る結果となっています。今後は表やグラフから関数関係を見だし、条件に合わせて表現し、考察する力を伸ばしていくことが求められます。

## 中学校 英語



今年度初めて実施した英語でしたが、「聞くこと」については全国の平均正答率を上回り、その他の領域では全国の平均正答率を下回る結果となりました。「読むこと」「書くこと」については、今回の結果を十分に分析し、より一層指導を充実させていくことが求められます。

## 総評

各校では4月の調査終了後に自校採点を行い、課題把握とその克服に向けた対策に取り組んでいます。また、秋田大学の教授を講師に迎えての授業力向上研修を実施し、課題であった教科や領域を中心に授業での指導方法を改善し、個に応じたきめ細かい指導を学校全体で行うようにしてきました。今回の調査結果からは、このような地道で継続した取り組みが一定の成果を出しているといえます。今後は各校における現状と課題を明確にし、より一層の授業改善を図ることで美郷町の子どもたちの可能性を十分に伸ばせるように努めていきます。

## 児童・生徒質問紙調査の結果概要

### I ①～⑥ 学校や社会生活への関心

小中学生ともに新聞を読んでいる割合が高く、地域や社会への関心が高まっていることがうかがえます。町では4年生以上の小学生に「こども新聞」、中学生に「中高生新聞」を配布しており、今後も継続していく予定です。小学生では地域の行事への参加や、地域や社会のことを考えている割合が高く、望ましい状態にあるといえます。

### II ⑦～⑨ 自分自身の捉え

県平均を上回っている項目が多く、小中学生ともに自尊感情が高まっているといえます。今後とも各校においては家庭との連携のもと、児童・生徒の個性を尊重しながら、一人ひとりの良さを一層伸ばしていく取り組みを推進していきます。

### III ⑩～⑭ 授業に対する思い

県平均を上回っている項目が多く、小中学生ともに主体的に学び、学習への意欲が高まっている望ましい状態にあるといえます。中学生では国語や数学と比較すると英語が好きで生徒の割合が低く、授業改善に一層力を入れていきます。

### IV ⑮～⑰ 家庭学習

質問項目⑮からは、小中学生ともに家庭学習の習慣が身に付いていることがうかがえます。町では学校と連携し、学年に応じた学習の仕方を示した「家庭学習の手引き」をすべての小中学生と家庭に配布しています。今後も子どもたちの力を伸ばす家庭学習を支援していきます。

### V ⑱～㉑ 家庭での生活・会話

すべての項目で県平均とほぼ同じ結果です。規則正しい生活習慣はすべての活動の基本です。ご家庭でも機会をとらえてお子さんの望ましい生活習慣について話題にし、実践していただきたいと思えます。

### VI ㉒～㉕ 規範意識や道徳性

すべての項目で高い割合にあり、小中学生ともに規範意識はとも高いといえます。地域・家庭・学校がそれぞれの立場で規範を示し、温かい声掛けをしながら子どもたちを育てている成果といえます。

■は、県平均と比較して特に良好なもの

質問事項		小学校	県平均との差	中学校	県平均との差
I	①学校に行くのは楽しいと思う	90.8	1.0	84.1	-3.0
	②新聞を読んでいる	77.9	23.4	61.6	18.0
	③地域の行事に参加している	90.0	6.3	60.9	-1.3
	④地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある	79.3	5.5	62.3	1.5
	⑤外国の人と友達になったり外国のことをもっと知りたい	77.9	0.6	64.5	-4.0
	⑥日本やあなたが住む地域を外国の人に知ってもらいたい	89.3	2.1	81.1	5.8
II	⑦自分には、よいところがあると思う	92.2	3.0	84.1	1.3
	⑧先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う	95.0	1.6	92.0	1.6
	⑨将来の夢や目標を持っている	90.8	-0.6	86.2	5.3
III	⑩授業では課題の解決に向けて自分で考え自分から取り組んだ	87.8	0.3	89.1	3.5
	⑪自分の考えが伝わるよう工夫して発表した	78.6	4.4	73.1	3.1
	⑫国語の勉強が好きだ	82.1	4.8	86.2	11.4
	⑬算数・数学の勉強が好きだ	78.6	2.5	67.4	3.6
IV	⑭英語の勉強が好きだ(中学校)			60.9	-3.5
	⑮家で自分で計画を立てて勉強をしている	88.6	2.5	81.9	15.2
	⑯平日、家で1時間以上(小学生)、2時間以上(中学生)学習している	80.7	7.6	27.5	-1.7
V	⑰平日、授業以外に30分以上読書をしている	45.0	2.3	39.1	4.2
	⑱朝食を毎日食べている	97.1	0.1	97.1	1.1
	⑲毎日、同じくらいの時刻に寝ている	87.9	1.3	81.2	-2.1
	⑲毎日、同じくらいの時刻に起きている	96.4	2.2	95.7	0.5
	⑲家の人と学校での出来事について話をする	81.4	-1.3	84.8	2.5
VI	⑳学校のきまり(規則)を守っている	97.9	2.8	97.1	-0.5
	㉑人が困っているときは、進んで助けている	92.2	0.4	94.2	3.0
	㉒いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	97.9	-0.6	98.5	1.2
	㉒人の役に立つ人間になりたいと思う	97.9	0.3	98.5	1.4